

AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

1992年7月25日 発行 号 外 発行・横浜スペイン交流協会事務局

「さくら交流基金」募集開始!

当協会設立時からの事業計画のメインテーマであった“スペインに桜の苗木を植樹し、交流の絆を太くしよう”との構想が、ようやく具体化し、そのための基金募集のパンフレットが完成しました。

このパンフレットのデザインは、会員の児玉喬夫氏の手によるもので、表紙写真は当協会会長の下山貞明氏撮影です。

とりあえず、会員の皆様には本パンフレットをお届け致しますが、皆様の知人や友人で本趣旨にご賛同いただける方がおりましたら、協会事務局まで、その方の住所、氏名をお知らせいただければ、事務局よりパンフレットをはじめとする「さくら交流基金」応募に関する書類を送らせていただきます。どうぞ、多くの方をご紹介ください。

また、会員の皆様が直接知人、友人に「さくら交流基金」パンフレット等をお届けし、願うする場合、必要部数を事務局までお申し出ください。郵送させていただきます。

ぜひとも、会員みんなの手で、1日でもはやく「桜の苗木の植樹」を成功させましょう!

サンタ・マリア号復元船、MM21地区へ

会員の杉本康氏の発案による、“サンタ・マリア号復元船を横浜港に招聘しよう”が、いよいよ実現することになりました。

来る8月26日(水)より、9月1日(火)までの7日間、“みなとみらいさん橋”(ぶかりさん橋)に停泊し、横浜市や(財)サンタ・マリア号協会によって、市民に公開されます。この期間、パシフィコ横浜・プラザにおいて『コロンブス街道』と銘打って、コロンブスをテーマとした関連イベントが開催されます。このイベント会場の一角に当協会が《スペイン情報コーナー》を設置することが決まりました。

そこで、この情報コーナーでお手伝いできる方を、募集します。

お手伝いしていただく内容は、「さくら交流基金」の受付が中心です。また現在、理事の中村瑛子氏を通じ、国際電信電話会社(KDD)に、国際版ふるさと電話でスペインまでの無料通話の話しを交渉中ですが、これが実現しますと、この通話の整理があります(スペイン語会話の能力は必要ありません)。

時間等都合のつく方は、ひとりでも多くお手伝いいただければと思います。都合のつく日時を同封別表に記入し、できるだけ早く、事務局までご返送ください。

事務局で時間、日時の割り振りをして、再度お願いのご連絡をさせていただきます。

ムルシア医科大学学生トーナメントの交換会開催

サンタ・マリア号復元船横浜港寄港のイベントのひとつとして、スペインよりムルシア医科大学学生のバンド演奏及び合唱(トーナ)があります。

当協会では、8月31日(月)午後6時より、横浜高島屋ばらの間において、トーナのメンバーの方々との交換会を開催します(有料)。

参加者に制限がありますので、この交換会にご参加ご希望の方は、おはやめに事務局までお申し込みください。